

## 私の好きな16のことば

開倫塾  
塾長 林 明夫

Q：塾長の話はいつも勉強のことなので、たまには違う話をしてください。

A：(林明夫：以下省略)それは、気付かずに失礼しました。それでは、私の好きなことばを紹介いたします。

(1)「小学校4年生は新聞を読むこと」

このことばは、足利市立山辺小学校の4年生の時にクラス担任の岡典子先生から教えて頂きました。試しに読んでみると、4年生でもわかることがたくさんありました。以来、家で取っている新聞を毎日読むことが大好きになり、今日(こんにち)に至っています。

(2)「練習で泣いて試合で笑え」

このことばは、足利市立山辺中学校の柔道部監督の椎名弘先生から教えて頂きました。柔道部の練習はとてつもなく厳しくて毎日ヘトヘトでしたが、この教えのおかげで地区大会ばかりでなく県大会でも優勝できました。

(3)「ブルドッグ魂」(食いついたら離すな)

このことばは、足利市立山辺中学校3年生のときにのクラス担任の岡田忠治先生から教えて頂きました。昔のブルドッグは獰猛な印象があり、食いついたら離さないという気迫が漂っていました。私が自分でやると一度決めて始めたことを途中で止めることが少ないのは、岡田先生の教えが大きいと思います。

(4)「一所懸命」(一つの所で命を懸けるくらい熱心なものごとに取り組もう)

このことばは、栃木県立足利高校のマラソン大会で頂いたハチマキに書いてありました。私は生意気な高校生でしたので、先生に「一所の字が間違っていますよ」と言いましたら、林君は勉強が足りない。『一生懸命』ということばのものの形は『一所懸命』だよ」と意味を教えてくださいました。私は「なるほど」と思い、それ以来「一所懸命」という言い方が大好きになりました。

\*このときに、先生に質問をすると素晴らしいことを教えて預けることを学びました。

(5)「スポーツをすることによって得られる3つの宝とは、『練習は不可能を可能にする』という考え方、『フェアプレイ』の精神、『よき友』の3つ」

このことばは、慶應義塾大学法学部法律学科に入学して法律を学ぶようになったときに、以前の慶應義塾の塾長でテニス部の監督をされた小泉信三先生のことばとして教わりました。

(6)「独立自尊(どくりつじそん)」

これは、慶應義塾の創設者、福澤諭吉先生のことばです。自分自身が独立してはじめて自分自身を尊ぶことができる。一人ひとりの国民が独立してはじめて日本国の国としての独立もある。国民が一人の人間として独立するかどうかは、学んだかどうかで決まる。このような内容ではないかと思えます。

Q : 社会に出てから出会い、好きになったことばは何ですか。

A : (1) 「一生勉強、一生青春」

このことばは、栃木県足利市出身の書家、相田みつを先生のもので。家が近かったので相田先生の散歩の姿は時々お見かけしたことがあります。私にとって一生の宝物のようなことばです。

(2) 「教育ある人とは一生学び続ける人」

このことばには、経営学の大家、ドラッカー先生の本を読んでいて出合いました。学校時代にどんなによい成績を取った人でも、また、全く勉強せずに学校を卒業した人でも、大事なのは、今、学んでいるこれからも一生学び続けることです。「今も学び続けている人、これからも学び続ける人こそが教育ある人」というドラッカー先生の考えは素晴らしいものです。

(3) 「人知らずして<sup>うら</sup>愠みず、亦君子ならずや」(誰も自分の存在や行いを認めてくれなくとも恨んだりすることなく、自分の目指すものに向かってひたすらに努力し続けるのは、なんと立派なことではないか)

このことば、2500年ぐらい前の中国に生きた孔子(こうし)の教えを弟子たちが499の章にまとめた「論語」の第一章の最後に出てきます。

(4) 「離見の見(りけんのかん)」(舞台の上で踊っている自分の姿を舞台の下の観客席から見ている)

このことばは、能楽を広めた世阿弥(ぜあみ)のもので。

(5) 「本当の月を見たことがあるのか、本当の自分を見たことがあるのか」という京都一燈園の石川洋先生のことばと併せて読むと、自分自身を省察(しょうさつ)、顧みるときに参考になります。

(6) 「持続する志」

このことば、ノーベル賞作家、大江健三郎先生のもので。

(7) 「目には見えぬが心は近い」

このことばは、インドのことわざだそうです。志(こころざし)を同じくして学び合った人々は、遠く離れていても同じ心を持つという意味ではないかと思います。

Q : 最後に一言どうぞ。

A : 私の好きなことばをさらに3つ紹介いたします。

(1) 「励まし合う友達づくり」

(2) 「健康第一」

(3) 「自然と精神」

皆様はどのようなことばが好きですか。あとで教えてくださいね。

— 2014年12月8日 —  
(宇都宮大学大学院工学研究科 客員教授)